

令和7年度 全九州高等学校体育大会
第53回 全九州高等学校ヨット競技大会
兼全国高等学校総合体育大会ヨット競技九州地区予選会

実 施 要 項



2025

主 催	九 州 高 等 学 校 体 育 連 盟
	沖 縄 県 教 育 委 員 会
後 援	公益財団法人沖縄県スポーツ協会
	与 那 原 町
	九 州 ヨ ッ ト 協 会
主 管	沖 縄 県 高 等 学 校 体 育 連 盟
	沖 縄 県 セ ー リ ン グ 連 盟

レース公示

1. 期日・会場等

- (1) 開 会 式 日 時：令和 7 年 6 月 20 日（金） 8:30
会 場：与那原マリーナ
- (2) 競 技 日 時：令和 7 年 6 月 20 日（金）～ 6 月 22 日（日）
会 場：与那原マリーナ沖
- (3) 閉 会 式 日 時：令和 7 年 6 月 22 日（日） 15:00
会 場：与那原マリーナ TEL：098-945-8131
- (4) 競技種目
- | | |
|--|---------|
| 420級 | 男子 ・ 女子 |
| シグ [＊] ルハンダ [＊] 級（ILCA6級、シーホッパー級SR） | 男子 ・ 女子 |
| FJ級 | 男子 ・ 女子 |
| コンバインド （420級＋シグ [＊] ルハンダ [＊] 級＋FJ級の合計点で競う） | 男子 ・ 女子 |
- (5) 大会日程

(5) 大会日程

月 日	時 刻	内 容
6月18日 (水)	13:00 ～ 17:00	受付・計測
6月19日 (木)	8:30 ～ 11:00 12:30 ～ 14:30 15:00 ～ 16:00	受付・計測 プラクティスレース 監督主将会議(与那原マリーナ会議室)
6月20日 (金)	8:30 ～ 10:25 ～ 引き続き	開会式(与那原マリーナ) 第1レース スタート予告信号予定時刻 3レースを予定
6月21日 (土)	10:25 ～ 引き続き	最初のレースのスタート予告信号予定時刻 3レースを予定
6月22日 (日)	9:55 ～ 15:00 ～	最初のレースのスタート予告信号予定時刻 1レースを予定 閉会式

- ① 天候やその他の理由により、日程・時刻・レース回数を変更することがある。
- ② 各競技種目はレースが1回以上完了すれば、当該種目は成立とする。
- ③ 競技日程の変更は、そのレースが行われる前日の18:00までに公式掲示板またはWEB上で発表される。
- ④ 大会最終日は12:00を越えて予告信号が発せられることはない。

(6) 諸 会 議

会議名	日 時	会 場
監督・主将会議	6月19日(木) 15:00～	与那原マリーナ
各県専門委員長会	6月19日(木) 19:00～	与那原マリーナ

2. 競技規則・方法

(1) 競技規則

- ① 本大会には、「国際セーリング競技規則2025-2028」（以下「RRS」という）に定義された「規則」が適用される。
- ② RRS42違反に対し、付則Pを適用する。
- ③ RRS付則T（調停）が適用される。規則T1に基づき「レース後ペナルティー」を履行した艇は、「PRP」の得点記録の略語を用いて記録される。これは規則A10を変更している。

(2) 競技方法

- ① レースは男女・種目別（状況によっては男女同時スタートもありうる）に各7レースを行う。ただし、各競技種目でレースが1回以上完了すれば大会は成立する。また、コンバインドは、420級とシングルハンダー級、及びFJ級が1レース以上完了しなければならない。
- ② 順位は各種目別に決定する。各種目とも男女の順位については、たとえ男女が同時にスタートしても先頭艇フィニッシュ時刻、フィニッシュ順位、レース終了時刻も全て男女別に記録される。
- ③ 420級およびFJ級は、1艇につき4名以内で1チームを構成する。チーム内でのレースごとのスキッパー、クルーの分担は任意である。シングルハンダー級は、1艇につき1名の選手登録とする。なお、選手登録の変更は、原則として認めない。
- ④ 得点は、完了したレースが3回以下の場合には全てのレース得点の合計とする。4回以上レースが完了した場合は、その艇の最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- ⑤ 団体競技男女コンバインドについては、以下のとおりとする。
 - ア 各種目のそれぞれの艇に、確定した順位に対する得点を与え、各校の上位2艇までの合計得点で順位を決定する。「順位に対する得点」とは、1位の得点を参加艇数+1の値とし、順位が下がるごとに1点を減じた得点とする。得点はすべての参加艇に与えられる。
 - イ 同点の場合は、
 - a) 420級、シングルハンダー級、FJ級のいずれかで、確定した順位に対する得点が最も良い学校を上位とする。
 - b) それでも420級、シングルハンダー級、FJ級の確定した順位で序列がつかない場合、420級の順位が良い学校を上位とする。それでも序列がつかない場合は、シングルハンダー級の順位が良い学校を上位とする。

※コンバインドは、大会にエントリーしたすべての学校が対象となる。但し、すべての種目にエントリーしていない場合は、エントリーしていない種目のコンバインド得点（1点）を与え、その種目に参加したものとみなし、合計得点を算出する。
- ⑥ 使用する艇は、自艇あるいは各学校の責任においてチャーターした艇とし、FJ級においては日本FJ協会の公認標準艇でなければならない。
- ⑦ 使用するセール番号は参加申込書に記載したものとし、それ以降の変更は認めない。また、同一セール番号を複数の艇に使用することはできない。
- ⑧ 予備セールの計測は、登録セールの破損時等、必要に応じて行う。予備セールの番号も原則として参加申込書に記載した番号と同一でなくてはならない。
- ⑨ 各艇のセールには、大会事務局で割り振った識別番号シールを貼り付けなければならない。なお、識別番号シール代は10. (4)にしたがい納入すること。
- ⑩ 帆走指示書はプログラムに記載するとともに、九州高等学校体育連盟ホームページ（以下、HPと記載）にも掲載するので、各校で事前に確認すること。RRS.org (<https://www.racingrulesofsailing.org/documents/11156/event>)

3. 引率・監督について

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長が認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、当該県高等学校体育連盟会長に事前に届け出ること。
- (2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部の者である場合は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。但し、各県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。
- (3) 監督は男女各種目1名とし、それぞれ兼ねてもよい。但し、大会中の変更は認めない。

4. 大会参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 参加者は、各県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、各県大会の実施要項により、九州大会の参加資格を得た者に限る。(各競技種目とも1位から順次出場させること)
- (3) 参加者は、令和7年度(公財)日本セーリング連盟の会員登録を完了している者に限る。
- (4) 参加者の年齢は、平成18(2006)年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場回数は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。(出場とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数をさす。)
- (5) チームの編成において、在籍する課程の異なる生徒による混成は認めない。
- (6) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。
ア. 部員不足に伴う合同チーム
(都道府県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められた場合)
詳細は、公益財団法人全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」による。
イ. 統廃合対象校による合同チーム (統廃合完了前の2年間に限る)
- (7) 転校・転籍後6ヶ月未満の者は参加を認めない。外国人留学生もこれに準ずる。但し、一家転住等やむをえない理由がある場合は、各県高等学校体育連盟会長の許可があれば、この限りではない。
- (8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長および所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (9) 参加資格の特例による参加は、全九州高等学校体育大会開催基準要項のとおりとする。

5. 参加制限

- (1) 各県のエントリーは、男女ともに420級が4艇、シングルハンダー級が6艇、FJ級が6艇以内とし、同一校のエントリーについては、男女ともに420級が2艇、シングルハンダー級が3艇、FJ級が3艇以内とする。なお、複数の艇に同一選手を登録することはできない。
- (2) 外国人留学生の参加については、全国高等学校総合体育大会要領のとおりとする。

6. 参加申込

- (1) 申込締切 令和 7年 6月 3日(火)必着
※期限までに県大会が終了しない場合は、事前に(2)申込先まで連絡すること
- (2) 申込先 ① 〒901-1303 沖縄県島尻郡与那原町字与那原11
沖縄県立知念高等学校 阿波連本周 宛
TEL 098-946-2207 FAX 098-945-6586
② メールアドレス aharenmo@open.ed.jp
- (3) 申込方法 参加校は、各県の専門委員長にPDFデータ(公印済みのもの)と作成元のExcelデータを送信。各県の専門委員長は5.(1)を確認後、6.(2)②へPDFデータ(公印済みのもの)と作成元のExcelデータを送信すること。
- (4) 申込手順

詳細については、九州高体連HP「その他のドキュメント」から、「申込電子化説明」を参照すること。

ア 九州高体連HPから、所定の申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入する。

イ 校長印を押印し、PDF化する(原本は各校で保管すること)

ウ 提出する参加申込書のファイル名を「(校名)参加申込書」とする。

エ 上記で作成したPDFデータと作成元のExcelデータを1つにまとめ、各県の専門委員長にPDFデータ(公印済みのもの)と作成元のExcelデータを送信。各県の専門委員長は5.(1)を確認後、6.(2)②へPDFデータ(公印済みのもの)と作成元のExcelデータを送信すること。に申込先メールアドレス6.(2)に送信する。(宿泊申込データを合わせて送信すること)

※紙媒体での提出を要する場合は別途その旨、記載をすること

※ 九州高等学校体育連盟HP： <http://kyusyu-koutairen.jp>

(5) 複数校合同チームによる参加申込

複数校合同チームによる大会への参加にあたっては、全国高等学校体育連盟が示す規程等を確認し、参加申込及び引率等を行うこと。

7. 参加負担金と追加負担金

(1) 420級、FJ級は1艇につき参加負担金20,000円と追加負担金5,000円、

シングルハンダー級は1艇につき参加負担金10,000円と追加負担金5,000円とする。

※ 追加負担金について

離島につき競技役員・審判員の旅費や運営用具借入の為の送料等が例年予算の範囲では賄えず、大会運営に支障をきたす為、今大会のみ特例として追加負担金を徴収する。

(3) 参加校は、参加負担金と追加負担金を下記の指定口座に納入すること。但し、振込手数料は参加校で負担すること。

【振込先】	琉球銀行	首里支店
	口座番号	(普) 560867
名義人	オキナワケンコウトウガクコウタイイクレンメイ センモンブ 沖縄県高等学校体育連盟 ヨット専門部 専門委員長 アハレン モトチカ	

※「沖縄県高等学校体育連盟ヨット専門部」指定口座

8. 表彰 男女各種目（団体・個人）とも、3位までを表彰する。

9. 出場権の獲得

男子420級:11艇、男子シングルハンダー級:8艇、女子420級:6艇、女子シングルハンダー級:5艇が全国高等学校総合体育大会への出場権を得る。但し、同一校の出場権は男女各種目2艇までとする。

10. 計 測

- (1) 艇、及び搭載備品の計測は、各クラス規則に基づいて行う。
- (2) 420級、FJ級のセールには、オフィシャルメジャラーのサインが必要である。
- (3) 計測料は1艇(セールを含む)につき**2,000円**とし、受付時に納入すること。但し、420級のサインが無いセールの計測については、別途**1,000円**を要す。
- (4) 計測の際、各艇のセールには大会事務局で割り振った識別番号シールを貼り付けていなければならない。なお、シール代として1艇につき**2,000円**を受付時に納入すること。
- (5) シングルハンダー(ILCA6)級においても国際レーザークラス規則25に基づき、直径6mm、長さ5m以上のバウラインを搭載しなければならない。

11. レース・エリア及びレース・コース

レース・エリア及びレース・コースは添付資料に示す。

12. 宿泊申込

- (1) 参加者は大会事務局の指定する宿舎に宿泊すること。宿泊申込は以下のURLから委託された宿泊担当業者へ大会事務局に示す内容で宿泊の申込みを依頼し、申込を行うこと。
- (2) 宿泊費は、**1泊朝食付き8,500円、1泊2食10,000円/人、共に(税・サービス料込)**。
- (3) 配宿は大会事務局で決定し、配宿担当業者の大会専用HP内の各学校専用ページにて通知する。通知の期日は宿泊・弁当申込要項に記載する。
- (4) 宿泊人員の変更等は、当該校の申込責任者が配宿担当業者へ直接連絡をすること。
- (5) 弁当の申込等について
 - ① 昼食の弁当は、宿泊申込の際に大会専用HP内で申し込むことができる。
 - ② 申込内容変更の際は、変更受付期限内に申込責任者が配宿担当業者へ連絡すること。
 - ③ 昼食の弁当代は、**1食864円(税込・お茶付)**とする。

13. 参加上の注意

- (1) 参加者は、万一の事故に備えて傷害保険への加入等万全の事故対策をしておくこと。
- (2) 参加者は健康診断を受け「健康保険証」を持参すること。
- (3) 競技中の疾病傷害等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。

- (5) 支援艇の持ち込みを希望する学校は、事前に大会事務局に連絡すること。その際、紙媒体かデータで船検証の写しを提出すること。また、海上では大会本部が用意した特定の旗を掲揚し、帆走指示書に従わなければならない。
- (6) 曳航ロープについて
 - ア) 420級については、420クラス規則のとおりとする。
 - イ) シングルハンダー級については直径6mm以上、長さ5m以上の曳航ロープをバウアイに付けておかなければならない。
- (7) トライアルレースより前の海上練習等について、主催者側は一切の責任を負わない。

14. 大会会場について

- (1) 会場使用料として、500円/1日/1艇を受付時に大会事務局へ納めること。
- (2) 会場への艇の搬入・搬出に関しては、大会事務局へ連絡すること。
- (3) 荒天の場合は、マリーナの指示の下、各艇は避難・対策を行う。
- (4) 支援艇の栈橋使用料（水道使用料含む）は、無料とする。

15. 個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて

- (1) 九州高等学校体育連盟が示す「九州高体連主催大会における個人情報及び肖像権に係る取り扱いについて」に従い対応を行うものとする。
- (2) 競技専門部は「九州高体連主催大会における個人情報及び肖像権に係る取り扱いについて」を実施要項及びプログラムに必ず掲載するとともに、大会中は一般観客等への周知するものとする。
- (3) 肖像権に関する取り扱いについては、九州高等学校体育連盟が示す「九州高等学校体育連盟肖像権取扱規程」に則った対応するものとする。

16. 感染症等への対策について

九州高等学校体育連盟作成の「全九州高等学校体育大会」危機管理マニュアルに示す「感染症（はしか・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等）の予防及び対応について」に基づき、対応するものとする。

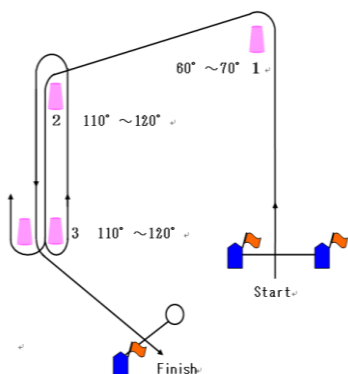
添付資料

レース・エリア

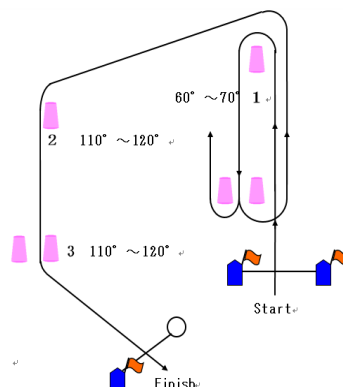


コース

トラペゾイド アウターループ
02 : S-1-2-3S/3P-2-3P-F



トラペゾイド インナーループ
I2 : S-1-4S/4P-1-2-3P-F



ソーセージ
LR 2 : S-1-4S/P-1-4P-F

